

2025年12月11日

各位

会社名 アライドアーキテクツ株式会社
代表者名 代表取締役会長 田中 裕志
(コード番号: 6081 東証グロース市場)
問合せ先 執行役員財務経理部長 水野 智博
(TEL 03-6408-2791)

子会社の税金費用計上及び2025年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025年8月14日に公表いたしました2025年12月期通期連結業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年12月期通期連結業績予想の修正について

(1) 修正内容

2025年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2025年1月1日～2025年12月31日)

	連結売上高	連結営業損益	連結経常損益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期 純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,650	百万円 △300	百万円 △300	百万円 △1,000	円 銭 △70.39
今回修正予想(B)	2,915	△250	△250	△750	△52.28
増減額(B-A)	265	50	50	250	
増減率(%)	10.0%	—	—	—	
(参考) 前期連結 実績 (2024年12月期)	3,463	△459	△386	△516	△36.33

(2) 修正の理由

売上高につきましては、前回公表した2,650百万円に対し、当社が掲げる新戦略における「三層支援」のうち、二層および三層の支援案件が想定を上回って進捗していることから、当期中に約265百万円の追加売上高を見込み、10.0%増の2,915百万円へと上方修正いたします。なお、これら支援の拡大に対応するための体制強化等によりコストも増加する見込みであることから、当期の営業損益への寄与は限定的と見込んでおります。

営業損益につきましては、前回公表した営業損失300百万円から250百万円へ、50百万円の改善を見込んでおります。主な要因は、当初250百万円を想定していたガバナンス強化関連費用について、施策

の効率化等により今期の発生額が約 150 百万円にとどまる見込みとなり、前回予想比で 100 百万円のコスト抑制が見込まれる点にあります。一方で、2025 年第 4 四半期に見込んでいる売上増加に確実に対応するための短期的な人員強化に加え、中長期の成長に向けた人材採用やツール導入等の先行投資として、前回予想に対して約 50 百万円の費用増加を見込んでおります。これらを総合した結果、営業損失は前回予想に比べ 50 百万円の縮小となる見込みです。また、経常損失は営業損失と同額の 250 百万円を見込んでおります。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、2025 年 8 月 14 日付「特別損失の計上、子会社の税金費用計上及び 2025 年 12 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、当社は 2025 年 8 月 29 日付で、連結子会社 Creadits 株式会社が保有していた海外連結子会社 SuperFaction Pte. Ltd. の株式を全て取得いたしました。これに伴い、本件株式譲渡の影響として想定しておりました SuperFaction Pte. Ltd. に係る法人税費用が当初想定を下回ることが判明したことから、前回公表いたしました△1,000 百万円から△750 百万円へと 250 百万円の損失縮小を見込んでおります。

今期の赤字は、前回公表時と同様、事業悪化によるものではなく、「信頼回復」と「将来の成長」の双方を実現するための戦略的な先行投資の結果であるとの認識に変わりはなく、当社グループは、「三層支援」戦略を一層推進することで、来期以降の利益回復と中長期的な企業価値向上の実現を目指してまいりますので、株主・投資家の皆様におかれましては、引き続きご期待とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※本お知らせに記載の業績予想および将来見通しに関する記述は、本お知らせの公表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断した一定の前提に基づく現時点での想定であり、その実現を約束するものではありません。実際の業績は、今後の事業環境等の変化により、記載の予想数値と大きく異なる可能性があります。

以上